



本田太郎活動レポート



2021年4月

令和3年度予算が成立 総額106兆6097億円は過去最大

3月26日、令和3年度予算が成立しました。高齢化に伴う社会保障費の増加や、新型コロナウイルス対策の予備費5兆円が全体を押し上げた結果、一般会計総額は106兆6097億円と9年連続で過去最大となりました。令和2年度第3次補正予算と合わせ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている国民の命と生活を守るため感染拡大防止に万全を期すとともに、将来を切り拓くため中長期的な課題を見据えて着実に対応を進めていく予算となっています。

具体的には、感染症危機管理やワクチン接種体制の整備等によって感染拡大防止に万全を期すとともに、予期せぬ状況変化への備えとして5兆円の新型コロナウイルス感染症対策予備費を措置することとしています。また、デジタル庁設置関連(3000億円)、グリーン社会の実現に向けたCO2削減取組み企業への低利融資や技術開発への支援、その他、活力ある地方創りのうち地方創生推進交付金(1000億円)、地方交付税交付金(17.4兆円)、少子化対策など全世代型社会保障の構築など、中長期的な課題にもしっかりと対応できる予算編成となっています。

財務金融委員会、予算委員会分科会、内閣委員会で質問



●財務金融委員会では赤字国債を発行するために必要な特別立法(公債特例法)に関する質問に立ちました。野放図な赤字国債の発行は慎まなければなりません。今般の新型コロナウイルス感染症は国家国民が直面している危機であるため、平時に求められる財政上の考慮はいったん後退させ、必要な額の歳出を躊躇なく行うべきです。財政再建を優先して経済が崩壊したり、国民が路頭に迷うようでは本末転倒だと主張しました。



●予算委員会分科会では経済産業政策に関し、中小企業支援策、舞鶴を含めた石炭火力発電所への今後の対応や地元の関連産業や雇用への対策、韓国を輸出管理優遇対象から除外した件などについて政府見解を求めました。

●内閣委員会ではデジタル改革関連法案の質問に立ちました。なかでもデジタル庁設置法案、個人情報保護法改正を含むデジタル社会の形成を図る整備法は、わが国の将来像や国民生活にも大きな影響を与えるため、政府の方針や理念についても突っ込んだ議論をしました。

中国の国家戦略について

2月3日、自民党中央政治大学院(学院長は有隣会の代表世話人である中谷元衆議院議員)では中国問題グローバル研究所所長の遠藤誉氏に「中国情勢—米中覇権競争下における中国の国家戦略—」というテーマで講演を頂き、その後意見交換をしました。

遠藤先生は、トランプ政権が中国共産党の一党独裁化に貢献してしまったと分析され、軍事力では中国は既に米国を抜いているとの調査結果を報告されました。また、中国の一党支配強化や経済大国化は、1989年の天安門事件などの際に、米国と日本が他国と足並みを揃えて経済制裁に踏み切っていればある程度は防げたとの認識を示されました。

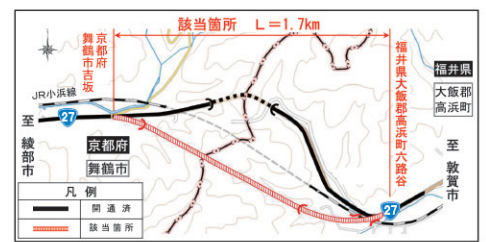
私は過去の歴史を学び、現状を正確に認識することによってこそ、強大化する中国への正しい向き合い方を選択することができると思います。折しも海警法成立によって尖閣諸島をめぐる緊張がさらに高まっており、わが国は日米同盟を基盤にしつつ、自由で開かれたインド太平洋構想に加えてイギリスとの協力強化など、基本的理念を共有できる民主主義国家との協調促進にリーダーシップを取っていかねばなりません。



京都舞鶴港 国際埠頭第2バースの予算化・青葉改良(舞鶴市吉坂~福井県高浜町)の事業化手続に着手

私は国際埠頭第2バースの事業化に向けて従前から国土交通省に働きかけてきましたが、昨年7月には西脇知事を会長とする京都舞鶴港促進協議会(私は特別顧問を拝命)が設立されて後押しを受け、本年3月に新規事業として予算が付きましました(事業費約71億円)。また、国道27号青葉トンネルの南側に1.7kmのバイパスを通す事業の手続にも着手しました(事業費約100億円)。新規トンネルと幅員拡幅により大雪時の渋滞解消、さらには原発事故時の避難道路としての機能強化を目指します。どちらの事業も京都府北部の経済発展・安心安全確保にとって重要ですので、今後とも関係者の皆様と協力して事業推進に努力を続けて参ります。

このほか、国道9号の整備、山陰近畿自動車道の延伸、由良川治水事業、舞鶴若狭道・京都縦貫道の4車線化など、やるべき事業が残っていますので、引き続き地元自治体と一致協力して参ります。



地元での活動



国道178号広瀬橋歩道橋渡り初め式では、地域の交通安全と観光客の利便性向上を関係者の方々と一緒に祝いました。



未来につなぐ桜プロジェクト事業では、子供たちにとって思い出の桜になることを願って一緒に植樹しました。



与謝野町消防団出初式では、地域の安全安心のため活動して頂いていることに敬意と感謝をお伝えし、激励いたしました。



由良地区の皆様、宮津市、国土交通省の担当者とともに現地視察を行い、国土交通省に対して護岸整備の要望をいたしました。



綾部市成人式にて新成人の門出を祝福するとともに、彼ら彼女らはつらつとした姿に刺激を頂きました。



岸田文雄前政調会長に伊根町をはじめ北部5市2町を視察・意見交換をして頂き、地域要望への協力を依頼しました。

本田 太郎 衆議院議員(福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町)

昭和48年生まれ。宮津市在住。妻・長女・次女の4人家族。東京大学法学部卒業、金融機関に勤務、弁護士、京都府議会議員(宮津市与謝野選出)を経て、谷垣禎一衆議院議員の後継者として、平成29年10月衆議院議員初当選。

所属委員会/財務金融委員会 委員・内閣委員会 委員・議会運営委員会 委員
党内役職/自民党国土交通部会 副部会長・自民党国際局 次長
自民党青年局 次長

本田太郎をお招き頂き、皆様や地域のお悩みを是非お教えください。対話型でご意見を伺い、解決の糸口を探して参ります。人数・場所は問いませんので、【本田太郎事務所】までお気軽にご連絡下さい。

国会事務所 / 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館210号室	TEL.03-3508-7012 FAX.03-3508-3812
福知山事務所 / 〒620-0045 福知山市駅前町227-4 舞鶴屋ビル1階	TEL.0773-48-9770 FAX.0773-48-9771
舞鶴事務所 / 〒624-0841 舞鶴市引土1-1 長久ビル1階	TEL.0773-77-8838 FAX.0773-77-8839
宮津事務所 / 〒629-2251 宮津市須津413-41	TEL.0772-46-5033 FAX.0772-45-1980



【HP】 <https://www.honda-taro.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/tarohonda1973/>

本田太郎

検索

Facebook

